

春風
闕志いまだまじく 丘に立ち

高校 (C)

俳句

春風（しゅんぷう）や闕志（とうし）いできて 丘（おか）に立（た）つ 明治・大正・昭和に活躍した俳人で小説家 高浜虚子が39歳の時に詠んだ俳句です。
遠ざかって俳壇に復帰するぞ、と決意を固め、燃える心を秘めて、春風に吹かれる虚子の姿が目に見えます。

春風
闕志いまだまじく 丘に立ち

高校 (C)

俳句

春風（しゅんぷう）や闕志（とうし）いできて 丘（おか）に立（た）つ 明治・大正・昭和に活躍した俳人で小説家 高浜虚子が39歳の時に詠んだ俳句です。
遠ざかって俳壇に復帰するぞ、と決意を固め、燃える心を秘めて、春風に吹かれる虚子の姿が目に見えます。